

男女参画へ町民心一つ

越前町 宣言都市式典に600人



町民約600人が参加した越前町の男女共同参画宣言都市記念式典＝1日、越前町の越前陶芸村文化交流会館

講演、発表通じ志新た

越前町と内閣府は一日、越前陶芸村文化交流会館で「男女共同参画宣言都市記念式典」を開催した。町民約六百人が参加し、男女共同参画社会づくりへの機運を高めた。

式典で関敬信町長は「町民と行政が一体となり、町を挙げて男女共同参画社会づくりに取り組んでいきたい」とあいさつ。宮崎中二年の渡辺富満君や区長会連合会の中橋鎮治会長ら町民代表七人とともに都市宣言を輪読。「性別にかかわりなく個性と能力を発揮できるまちをめざします」と力強く宣言した。

続いて、衆議院議員で元内閣府特命担当大臣の猪口邦子さんが「共に築く家庭と地域、ワーク・ライフ・バランスをめざして」と題して講演。日本の男女共同参画の現状と課題を紹介し、取り組みの推進を呼び掛けた。

この後、町民でつくる「まゝるく参画一座」が寸劇を披露。ユーモアを交えて村の寄り合いシーンを演じ、男女参画に向けた意識啓発を行った。

た。町内四団体による気づき事業の発表も行われた。